

## 報告要旨

開催日時：2023年7月28日（金）13:00～17:15

ワークショップ：「インターセクショナリティとジェンダー視点の主流化—バングラデシュ地域研究から」

報告：「女性・障害者・障害女性障害女性がひとりのうちに経験する困難」

報告者：金澤真実（上智大学アジア文化研究所）

障害女性は、長い間、女性と障害者の中で不可視化されると同時に、女性、障害者、また貧困や年齢などにより、複合的かつ交差的な差別を受けてきた。法制度では、女性または障害者への差別的な法律や運用が、障害女性に著しい不利益を生じさせる。社会生活では、結婚から排除されがちで、離婚や別居も障害のない女性と比べて多い。更に、就業も難しく、一生涯を家族や地域に依存して生きる負の存在と見なされるため、家族や地域から身体的、精神的、性的な暴力を受ける割合が高い。暴力の背景には、ジェンダー規範に基づく差別がみられるが、障害女性自身もジェンダー規範を内在化し、規範を守れないという認識がある。コロナ下では、ワクチン接種やトイレの利用で障害女性に固有な困難が生じた。

障害女性が経験する差別や困難は、障害と女性のみではない多様な複合性、表面的な現象だけではとらえられない深い交差性、障害女性自身に内在化する規範などによる複雑で深刻なものである。